

小学生に土砂災害防止への理解を深めていただく ～ふれあい土木展2014～

～近畿地方整備局 六甲砂防事務所～

小学生を始め幅広い方々に土木技術にふれていただくために、「ふれあい土木展2014」が開催されました。

六甲砂防事務所は、土砂災害防止と砂防事業の取り組みを紹介するために、模型による土石流実験とパネル展示を行いました。

概要

日時：平成26年11月14日（金）～15日（土）
10：00～16：00

場所：国土交通省 近畿地方整備局
近畿技術事務所

主催：国土交通省 近畿地方整備局
近畿技術事務所

来場者数：約1,600人



○六甲山地の砂防事業の取り組みと砂防えん堤の役割について説明

土砂災害の怖さを知っていただくために、阪神大水害（昭和13年）で被害を受けた神戸市三宮や、今年8月の台風11号に伴う豪雨で山腹が崩れた六甲山地の写真などのパネルを展示しました。

また、土石流を食い止める砂防えん堤の役割を知っていただくため、模型を使った土石流実験を行いました。ブースを訪れた小学生のみなさんは、住宅をのみ込む土石流の勢いに驚きの声を上げながらも、土石流の恐ろしさや砂防えん堤の役割について、熱心にメモを取っていました。

また、「砂防えん堤に溜まった土砂は取り除くのですか」、「コンクリートの寿命は何年ですか」など、砂防事業や土木技術に関する熱心な質問がありました。

万が一に備えて、日頃から危険箇所や避難場所を防災マップなどで確認し、大雨が予想される際には気象情報などに注意して、早めの避難をお願いします。



※この活動は、住吉中学校から2名の生徒の協力(トライやるウィーク)を得て取り組みました。

【お問合せ先】

国土交通省 近畿地方整備局
六甲砂防事務所 調査課

〒658-0052 神戸市東灘区住吉東町3-13-15
TEL：078-851-0535

